

山形教区報

発行 天理教山形教務支庁 〒 994-0027 天童市桜町 11 番 1 号
TEL 023-656-8420 FAX 023-656-8425
編集 広報部 E-mail y_kohobu@yahoo.co.jp

立教 187 年

7 月号

第 163 号

第 2 回 ようぼく一斉活動日

中央支部

6 月 2 日、教務支庁
を会場に開催し、60 名

の方々がお集まり下さいました。

今回の自主プログラムのテーマは「信仰
経歴ノートを使って、信仰のルーツを整理
してみよう」です。支部布教部が作成した
オリジナルのテキスト（信仰経歴ノート）
を用いて、①家の信仰の元一日を思い起こ
し、お道の素晴らしさを身近な人へ残し伝
えることの大切さを学ぶ。②これまでの歩
みをふり返りながら自身の信仰を見つめ直
し、より前向きに求める手掛かりとする。

ことをねらいとしました。参加者の皆さん
は 8 つグループに分かれねり合いを行い、
我が家あるいは自身が教
えに導かれながら辿った
歩み、頂戴してきた御守
護の有り難さをふり返
り、お道の教えを次代に
伝えることの大切さを改
めて心に刻んで頂けたよ
うに思います。

報告者

藤原隆宏・

中央支部副支部長



中央西支部

中央西支部の 2 回
目の「ようぼく一斉

活動日」を、6 月 2 日午後 1 時半から、
左澤分教会を会場に開催しました。

開会のあいさつ、おつとめに続いて全
員で諭達を拝読。引き続き、教会本部か
らのビデオメッセージを視聴しました。

その後自主プログラムとして、おさづ
けの取り次ぎ合いを行いました。中には、
ようぼくになって初めておさづけを取り
次いだという方もおられ、お互いに貴重
な体験となりました。

その後、介護施設に届ける新聞紙、ゴミ
箱作りのひのきしんを行いました。初め
て作る方は少し戸惑っていましたが、慣
れてくるに連れて会話も増え、終わる頃
には大変和やかな雰囲気となりました。

参加者が 13 名と少なかったのが、次回へ
向けての反
省点となり
ました。

報告者

藤野徹・

中央西支
部長



米沢支部

6月2日、置賜分教会を会場に開催しました。

「ちよつといい話」と題して、道友社 YouTube チャンネル「MOROちゃんねる」を視聴し、続いて能登半島地震での災救援山形教区隊の活動報告を行いました。

その後、36名の参加者を数班に分けて昼食のチラシ寿司作りを行い、会食懇談の場を持ちました。

会を重ねる毎に参加者同士の繋がりが深まり、次回も楽しみとなりました。

報告者 諸橋正史・

米沢支部道友社社友



置賜支部



当支部では赤湯分教会を会場に、DVD版『けつこう源さん』を視聴しました。

昭和53年の作品ということもあり、往時を思い出しても懐かしそうに観ていらつしゃる方が多かつたように思います。

視聴後は感想などをお聞きしながら、懇談の時間を持つ予定でしたが、ちよつど帰宅時間帯に大荒れとなる天気予報が出されたので、視聴後直ちに解散しました。参加者数は28名でした。

報告者

森谷賢治・置賜支部長

鶴岡田川支部

鶴岡田川支部では、6月1日午後1時から荘内分教会で開催しました。

少年会員も含めて38名の参加者で、中には支部管外にお住まいのよふぼくの方の参加もありました。

今回の自主プログラムは『扉を開いて』のDVD鑑賞で、皆さん真剣にご視聴下さいました。

次回は少し賑やかにできる企画を考えてみようと思います。

報告者 佐藤明博・

鶴岡田川支部長



酒田飽海支部



6月2日午前中、当支部の2回目のように、活動日を、飽海分教会で開催しました。

参加者は前回とほぼ同じ23名でした。

自主プログラムは、参加者を数班に別けて、自分の好きなお道のことばを語り合うという内容です。基本教理を改めて確認することも出来て、それぞれにいいお話をたくさん聞かせて頂きました。

報告者

佐藤真一・酒田飽海支部長

令和 6 年 能登半島地震

災救隊山形教区隊 第 35 次隊として出動

5 月 3 日、おぢばの災救隊本部より山形教区隊に対し、第 35 次隊として出動要請がありました。

教区災害対策委員会の議を経て、直ちに出勤準備を整え、6 月 6 日早朝、6 名の隊員が 2 台の乗用車に分乗し、被災地へ向かいました。同日夜、宿営地の日本航空高等学校石川（石川県輪島市）に到着後、山梨、福井、新潟各教区隊と共に結隊式に臨み、また翌日からの作業現場の確認を行いました。

7 日は、2 月の第 8 次隊でも出動した珠洲市で救援活動を開始。併せて当時宿営地となった和洋菓子店「メルヘン日進堂」（同市）に向き、同店代表取締役石塚愛子さんより、現在の珠洲市の状況をお聞きしました。



第 35 次隊では、教区隊は地震により家屋に倒れかかっているブロック塀を解体し、トラックに積み込み、がれき集積場へ搬出するという作業を 9 日までの 3 日間行いました。連日気温 30 度超の猛暑に見舞われましたが、隊員全員が細心の注意を払い、細かく作業内容確認をしながら、被災者の方々が少しでも前を向いて進めるように、一つ一つ丁寧に活動に当たりました。

天理教災救隊による能登半島地震救援活動は、これまでの緊急的な活動に一定の区切りをつけ、6 月末の第 40 次隊をもって一旦終了となりましたが、山形教区





隊としては3次にわたり、のべ96名の隊員が12日間出勤し、その間、少しでも被災地の皆さんのお役に立ちたいという強い使命感をもってつとめさせて頂きました。

教区管内の皆様方には、それぞれのお立場で救援活動をお支え頂き、厚く御礼申し上げますと共に、引き続き尚一層のお力添えをお願い申し上げます。

報告者 佐々幸雄・
 災救隊山形教区隊隊長



みちのだい育み塾 勉強会

6月30日、教区婦人会(森井喜代枝主任)主催の「みちのだい育み塾勉強会」が教務支庁において開催され、支部主任や担当者ら20名が参加した。

婦人会ではこれまで、子育て中の母親や近い将来母親となる女子青年を対象に「母親講座」を開催し、丹精を行ってきたが、今般、名称を「みちのだい育み塾」と変更し、

- ・ 教えを学び、身に付けることに力を入れる
- ・ 子育て中の母親だけでなく、その同世代の人が共に参加し、学べる場にする
- ・ ことなどをねらいとして、支部婦人会を主体に開催していくことになった。

当日は、婦人会本部の講習会を受講した担当者が改編の趣旨、運営に際しての留意点などを説明し、その後支部毎に分かれ、一人でも多くの対象者に参加してもらえようように話し合いが持たれた。



【訃報】

古城三雄氏(徹親分教会二代会長・名古屋大)が、6月21日、出直された。享年76歳。中央支部。

山田一郎氏(羽前時田分教会三代会長・名古屋大)が、6月30日、出直された。享年75歳。米沢支部。

教務支庁日誌

6月

- 2日 中央支部 第2回 ようばく一斉活動日
- 3日 主事会 地方委員会 教区例会
- 3日 災救隊例会
- 6日 災救隊出動(〜9日) 石川県珠洲市
- 中央支部例会
- 中央支部婦人会例会
- 23日 女子青年例会
- 31日 みちのだい育み塾 勉強会